

ビキニ事件と核兵器廃絶の課題について学び、交流しよう

2024 春 全国高校生平和集会 in 焼津

中学・高校生の皆さん

ビキニ核被災から 70 年がたちました。それに伴いビキニ水爆実験が行われたこと、焼津の第五福竜丸だけでなく高知など日本で 1,000 隻以上が被ばくし、マーシャル諸島をはじめ世界の様々な地域で今なお苦しんでいる方々がいることを知らない人が増えています。静岡の高校生は「ビキニ核被災の問題をあらためてすべての人に自分の問題として考えてほしい」と願っています。全国の高校生とともに、ビキニ核被災と核兵器廃絶の問題について、学び、交流する高校生平和集会 in 焼津に参加しましょう。



(2023.8 の高校生平和集会 in 長崎オンライン)

- 日時 Aプラン 2024年3月26日(火)～3月28日(木) 東京+焼津集会
Bプラン 2024年3月27日(水)～3月28日(木) 焼津集会
- 内容 3月26日(火) 午後 第五福竜丸展示館見学、夜 宿舎にて学習会と交流
宿泊 オリピック記念青少年総合センター
→ 3月27日(水) 朝、バスで焼津へ
3月27日(水) 午後1時 焼津駅集合 第五福竜丸関係のフィールドワーク
焼津歴史民俗資料館、焼津港、弘徳院
夜 宿舎にて学習会と交流
宿泊 静岡県立焼津青少年の家
3月28日(木) 午前 グループごとの学習交流会
午後 浜岡原子力発電所フィールドワーク(原子力館、防波壁)
午後3時頃掛川駅で解散(Aプラン参加者は午後6時ごろ東京駅解散)
- 参加定員 60名(先着順に受け付けます。定員に達し次第しめきります)
- 主催 エバーグリーン静岡&高校生平和ゼミナール全国連絡センター

※申し込み 静岡県内の高校生は2024年1月20日までにエバーグリーン静岡へ

静岡県以外の高校生や引率世話人は1月20日までに平和ゼミナール全国連絡センター(沖村)へ

AプランかBプランか 大人・高校生の名前、引率者の連絡先をメールまたはFAXでご連絡下さい。

※参加費(中高校生) Aプラン 12,000円(2泊3日の宿泊費・食費・バス代など)

Bプラン 5,000円(1泊2日の宿泊費・バス代など) いずれも初日にお支払いください。

※問い合わせ&申し込み先

エバーグリーン静岡

高島美玲(静岡) 090-8734-1264 evergreen.shizuoka2024@gmail.com

山口良二(静岡) 090-9663-6101 george2525peace@yahoo.co.jp

橋本純(静岡) 090-1864-4887 hashimoto-jun.tao.66@ezweb.ne.jp

静岡県高等学校障害児学校教職員組合 054-254-6900

高校生平和ゼミナール全国連絡センター

沖村民雄(東京) 090-4819-2932 okimurat@msi.biglobe.ne.jp FAX 03-3251-6318

望月照巳(広島) 090-9738-8264 mochizuki.t0617@gmail.com

※集合時間や場所、集会の詳細は後日お知らせします。

(2023年10月16日版)

第五福竜丸は今も航海中



第五福竜丸は 1954 年 3 月 1 日、マーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカがおこなった水爆実験により被ばくした静岡県焼津港所属の遠洋マグロ延縄漁船です。爆心地より 160 キロ東方の海上で操業中、突如、西に閃光を見、地鳴りのような爆発音が船をおそいました。やがて、実験により生じた「死の灰」(放射性降下物)が第五福竜丸に降りそそぎ、乗組員 23 人は全員被ばくしました。アメリカが炸裂させた水爆「ブラボー」は、広島に落とされた原爆の 1000 倍(15 メガトン)の破壊力でした。爆発によって砕けた珊瑚の粉塵はキノコ雲に吸い上げられ、放射能を帯びた「死の灰」となり周辺の家や島

に降り積もりました。放射能は広範な海と大気を汚染したのです。被害を受けたのは、第五福竜丸だけではありません。グローバルヒバクシャは増え続け、核兵器による脅威、原発事故の不安は大きくなるばかりです。

「ばらの祈り～死の灰を越えて」
久保山愛吉・すずさんの
愛と勇気の物語 朗読劇



歌声に祈りを込めて

「語り継いでいこう、私達のその先へ」
満蒙開拓のお話を脚本化、朗読劇



島田空襲「明日までつづく物語」朗読劇

グループ学習会講師紹介 (予定)

- ① 杉村征郎さん：事件当時、家の真ん前に第五福竜丸が係留されていた。中学の友人と共に原水爆反対署名を集めた。映画「第五福竜丸」にエキストラ出演。静岡大学で特別講座を持ち平和を語る。
- ② 河村恵子さん：第五福竜丸乗組員大石又七さんの義妹。姉信子さんと又七さんとの出会い、当時の状況、自身の原発関係の仕事について語っている。重度障がいを持つ二人の息子さんを育てながら語り継ぐ。
- ③ レウィ千穂さん：焼津生まれ、20 回以上マーシャル諸島に行き核被災の調査をする。マーシャルの方と結婚。1年後にマーシャルに移住予定。グローバル核被害を訴える。
- ④ 粕谷たか子さん：ビキニ水爆被災を海外に知らせる取り組みをおこなう。絵本『ばらの祈り～死の灰を越えて』を日英語で出版。アメリカ人監督の映画「西から昇った太陽」の制作を手伝う。
- ⑤ 聞間元 (はじめ) さん：県内外の原発被災者の検診やビキニ被災船員の調査をしてきた医師。反核医師の会全国世話人。ビキニ被災船員訴訟を支援する会の共同代表の一人。
- ⑥ 新村直樹さん：焼津高校元教員。久保山さんの二女三女の担任だった。事件当時の状況をよく知っている。

フィールドワーク：浜岡原発～政府の停止要請から 12 年 浜岡原発をどう考える



2011 年 5 月。東京電力・福島第一原子力発電所の事故から 2 か月後、当時の政府は、静岡県御前崎市にある浜岡原子力発電所のすべての原子炉停止を中部電力に要請。当時の菅直人総理大臣は、記者会見で「30 年以内にマグニチュード 8 程度が想定される東海地震が発生する可能性は 87%と、極めて切迫している」と述べ、浜岡原発が大地震の震源域にあることを重くみた特別なケースだと説明。

要請を受けた中部電力は、定期検査で停止中だった 3 号機に加え、運転していた 4 号機と 5 号機の停止を決断。全国各地の原発も安全対策のため順次運転を停止。その後、新しい規制基準に合格した各地の原発では、再稼働が進んでいるが、浜岡原発は、12 年間、すべての原子炉を停止したまま。中部電力はこの 12 年「福島第一原発のような事故を起こさない」と、再稼働を目指して、高さ 22m・総延長 1.6km の防波壁など、総額 4000 億円の安全対策の工事を進めてきた。これからの日本のエネルギーをどうするか。将来の世代のために、一人ひとりが考えたい。